

# (資料2)「景観まちづくり刷新モデル地区」について [1/2]

## 景観まちづくり刷新モデル地区を指定する都市一覧 (10地区)



### 北海道函館市



(整備後イメージ)

#### 【事業概要】

函館駅通りに隣接する当該地区において、夜間照明やストリートファニチャの整備等により、デザイン性に優れた夜間景観を新たに創出し、地域活性化を図る。

#### 【事業効果】

観光入込客数の増加  
平成27年 495万人 → 平成32年 540万人

### 青森県弘前市



(整備後イメージ)

#### 【事業概要】

禅林街の舗装の美装化や広場の整備に加え、旧弘前市立図書館等の歴史的風致形成建造物を再配置させるという独自の取組により、観光客の回遊性を高める。

#### 【事業効果】

観光入込客数の増加  
平成27年 503万人 → 平成32年 588万人

### 茨城県水戸市



(整備後イメージ)

#### 【事業概要】

水戸駅前のペDESTリアンデッキのタイルの張替えや水戸城跡周辺の法面緑化と千波湖の浄化装置の外観修景、借楽園の板塀の整備等により地区の魅力を向上させ、回遊性を高める。

#### 【事業効果】

観光入込客数の増加  
平成27年 367万人 → 平成32年 420万人

### 福井県敦賀市



(整備後イメージ)

#### 【事業概要】

氣比神宮に向かう商店街における舗装の美装化やストリートファニチャの整備、人道の港の景観復元等を実施し、氣比神宮等の観光施設を繋ぐ歩行空間の魅力を向上させ、回遊性を高める。

#### 【事業効果】

観光入込客数の増加  
平成27年 206万人 → 平成32年 224万人

# (資料2)「景観まちづくり刷新モデル地区」について [2/2]

## 岐阜県高山市



(整備後イメージ)

### 【事業概要】

高山駅前建築物の外観修景や屋外広告物の集約化を実施するほか、舗装の美装化、広場との一体的な整備により2箇所の重要伝統的建造物群保存地区までの回遊性を高める。

### 【事業効果】

観光入込客数の増加  
平成27年 434万人 → 平成31年 452万人

## 和歌山県田辺市



(整備後イメージ)

### 【事業概要】

紀伊田辺駅舎の修景、駅前広場の整備、駅前面に広がる商店街のアーケード撤去、建造物の外観修景等の一体的な整備により、地区の魅力向上させ、回遊性を高める。

### 【事業効果】

観光入込客数の増加  
平成27年 381万人 → 平成32年 394万人

## 兵庫県篠山市



(整備後イメージ)

### 【事業概要】

大正ロマン館の修景整備や篠山重要伝統的建造物群保存地区内の無電柱化、城下町区画道路の美装化等、城下町の雰囲気高める整備により、観光客の回遊性を高める。

### 【事業効果】

観光入込客数の増加  
平成27年 48万人 → 平成32年 55万人

## 山口県長門市



(整備後イメージ)

### 【事業概要】

長門湯本地区の地域の自然や地形を活かし、親水性の高い広場の整備や、かつて行われていた棚田地形を活かした遊歩道整備等により、観光客の回遊性を高める。

### 【事業効果】

観光入込客数の増加  
平成27年 120万人 → 平成33年 200万人

## 香川県高松市



(整備後イメージ)

### 【事業概要】

屋島地区の新たな観光拠点施設の整備と併せ、屋島駅から当該地区までの舗装の美装化、ベンチ等の設置、駐車場の整備等により地区の魅力向上させ、回遊性を高める。

### 【事業効果】

観光入込客数の増加  
平成27年 664万人 → 平成32年 730万人

## 長崎県長崎市



(整備後イメージ)

### 【事業概要】

市街地において夜間照明のライトアップの更なる魅力上げや、夜間景観を楽しむために鍋冠山の遊歩道の整備や、稲佐山の街路灯の整備により、地域活性化を図る。

### 【事業効果】

観光入込客数の増加  
平成27年 669万人 → 平成32年 710万人